

伊勢原市第5次総合計画 後期基本計画

施策評価のまとめ

令和3年6月
伊勢原市

— 目 次 —

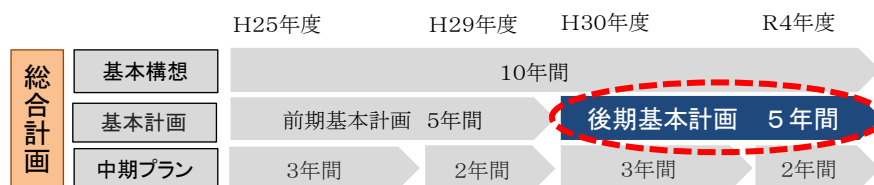
1	施策評価の目的	1
2	評価対象	1
3	評価方法等	1
4	施策等の一覧	2
5	内部評価の概要	3
6	外部評価の概要	6
7	施策別評価結果一覧	9
8	施策評価結果から得られた課題等の整理	12

1 施策評価の目的

第5次総合計画後期基本計画（平成30年度～令和4年度：5年間）に掲げる施策等を適切に進行管理するとともに、次期総合計画の策定に向けた基礎資料等とするため、総合計画進行管理規程に基づき施策評価を実施した。

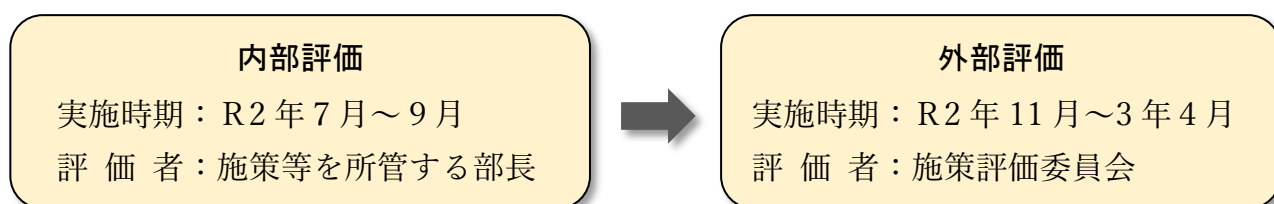
2 評価対象

第5次総合計画・後期基本計画に掲げる40本の施策及び「いせはらの「魅力」と「暮らしやすさ」向上リーディングプロジェクト



3 評価方法等

- (1) 令和5年度を始期とする次期総合計画の策定に向け、後期基本計画に掲げる40本の施策の成果を明らかにするため、施策を構成する事務事業の評価や市民意識を踏まえて内部評価を行うとともに、その客観性及び透明性を担保するため、外部評価を実施した。
- (2) 後期基本計画の推進にあたり、分野横断的に位置付けた4つのリーディングプロジェクトについて、内部評価を行うとともに、施策評価委員会による意見を徴した。
(※別添、外部評価報告書に記載)
- (3) 市民目線での評価を重視するため、令和元年度に実施した市民意識調査の結果や施策評価委員会による外部評価結果を活用して整理した。



4 施策等の一覧

■施策

5つの力	まちづくり目標	施策名	所管部
暮らし力	① 誰もが明るく暮らせるまち	1 こころと体の健康づくりの推進	保健福祉部
		2 安心できる地域医療体制の充実	保健福祉部
		3 多様な連携による地域福祉の推進	保健福祉部
		4 高齢者の地域生活支援の充実	保健福祉部
		5 障がい者の地域生活支援の充実	保健福祉部
		6 子育て家庭への支援の充実	子ども部
		7 多様な働き方が選択できる保育の充実	子ども部
		8 次代を担う子ども・若者の育成支援の推進	子ども部
		9 きめ細やかな教育の推進	教育部
		10 安全で快適な教育環境の整備	教育部
		11 学習成果を生かせる生涯学習の推進	教育部
		12 誰もが親しめるスポーツ活動の推進	保健福祉部
		13 歴史・文化遺産の活用と継承	教育部・経済環境部
安心力	② 安全で安心なまち	14 みんなで取り組む地域防災力の強化	企画部
		15 いざという時の危機対応力の強化	企画部・都市部
		16 被害を最小限に抑える減災対策の推進	企画部・都市部・土木部
		17 地域とともに取り組む防犯対策の推進	市民生活部・都市部
		18 迅速で適切な消防・救急体制の強化	消防本部
		19 人権尊重・男女共同参画社会の推進	市民生活部・保健福祉部・子ども部
		20 平和と多文化共生社会の推進	市民生活部
活力	③ 個性あふれるまち	21 地域を支える商業・工業の振興	経済環境部
		22 誰もが働きやすい環境の整備	経済環境部・市民生活部
		23 地域とつながる都市農業・森林づくりの推進	経済環境部
		24 魅力ある観光の振興	経済環境部
		25 シティプロモーションの推進	企画部
		26 地域特性を生かした新たな産業基盤の創出	都市部
		27 交流がひろがる拠点の形成	都市部
都市力	④ 魅力あふれる持続可能なまち	28 個性と魅力あふれるまちづくりの推進	都市部
		29 快適で親しみのある地域づくりの推進	都市部・経済環境部
		30 自然共生社会の構築	経済環境部
		31 低炭素・循環型社会の構築	経済環境部
		32 地域公共交通の充実	都市部
		33 安全な交通環境の整備	土木部・市民生活部
		34 都市の機能を高める基盤施設の整備	土木部・都市部
		35 公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進	企画部・都市部・土木部
		36 みんなで楽しめる公園づくりの推進	都市部
自治力	⑤ まちを動かす	37 市民協働と地域コミュニティの活性化	市民生活部
		38 市民に身近な市役所づくりの推進	企画部・総務部・市民生活部
		39 健全で安定した財政運営の強化	企画部・総務部
		40 市民に信頼される市政の推進	総務部・企画部・市民生活部・子ども部

■リーディングプロジェクト

リーディングプロジェクト名	
1	地域資源等を活用した市民の健康寿命延伸プロジェクト
2	観光をエンジンにした地域経済活性化プロジェクト
3	新たな土地利用等による都市の活力向上プロジェクト
4	未来につなげる子育て環境づくりプロジェクト

5 内部評価の概要

- (1) 実施時期：令和2年7月29日～9月15日
- (2) 評価者：施策等を所管する部長
- (3) 評価項目：主な指標の達成度、取組手法の有効性、市民意識の反映、施策推進上の課題の捉え方、施策の方向性の5項目
- (4) 評価方法：取組内容や市民意識調査結果等を記載した内部評価シートを基に評価した。
- (5) 結果概要

① 施策

■主な指標の達成度

5つの力/まちづくり目標	A 順調に進捗している	B 概ね順調に進捗している	C 遅れている	D その他
暮らし力/誰もが明るく暮らせるまち	5	6	1	1
安心力/地域で助け合う安全で安心なまち	4	3	0	0
活力/個性豊かで活力あるまち	4	2	1	0
都市力/住み続けたい快適で魅力あるまち	5	4	0	0
自治力/みんなで考え行動するまち	0	3	1	0
合 計	18	18	3	1
	45%	45%	7.5%	2.5%

* C評価となった施策：13「歴史・文化遺産の活用と継承」

22「誰もが働きやすい環境の整備」

38「市民に身近な市役所づくりの推進」

* D評価となった施策：12「誰もが親しめるスポーツ活動の推進」

(指標に設定した数値が把握できず、評価不可とした)

■取組手法の有効性

5つの力/まちづくり目標	A 高い	B 普通	C 低い
暮らし力/誰もが明るく暮らせるまち	8	5	0
安心力/地域で助け合う安全で安心なまち	5	2	0
活力/個性豊かで活力あるまち	3	4	0
都市力/住み続けたい快適で魅力あるまち	8	1	0
自治力/みんなで考え行動するまち	3	1	0
合 計	27	13	0
	67.5%	32.5%	0%

■市民意識の反映

5つの力/まちづくり目標	A 反映している	B 概ね反映している	C 反映できていない
暮らし力/誰もが明るく暮らせるまち	0	10	3
安心力/地域で助け合う安全で安心なまち	3	4	0
活力/個性豊かで活力あるまち	1	6	0
都市力/住み続けたい快適で魅力あるまち	4	5	0
自治力/みんなで考え行動するまち	0	3	1
合 計	8	28	4
	20%	70%	10%

* C評価となった施策：2「安心できる地域医療体制の充実」

3「多様な連携による地域福祉の推進」

7「多様な働き方が選択できる保育の充実」

40「市民に信頼される市政の推進」

■施策推進上の課題

■施策の方向性

} 記述方式により内部評価シートに記載

② リーディングプロジェクト

◇地域資源等を活用した市民の健康寿命延伸プロジェクト

「こころと体の健康づくりの推進」「高齢者の地域生活支援の充実」「誰もが親しめるスポーツ活動の推進」等の施策推進により、市民の健康づくりに対する意識は着実に高まり、数値目標である「市民の健康寿命」は年々上昇している。

(H28 当初値)		(R4 目標値)	※R 元実績値
男性：82.83 歳	→	83.76 歳	83.22 歳
女性：85.55 歳	→	86.58 歳	86.04 歳

◇観光をエンジンにした地域経済活性化プロジェクト

「歴史・文化遺産の活用と継承」「魅力ある観光の振興」「シティプロモーションの推進」等の施策を通して、観光客数及び観光消費額が増加した結果、数値目標である「観光による経済波及効果額」は年々増加している。

(H28 当初値)		(R4 目標値)	※R 元実績値
30 億 300 万円	→	35 億 300 万円	34 億 400 万円

◇新たな土地利用等による都市の活力向上プロジェクト

「地域を支える商業・工業の振興」「地域特性を生かした新たな産業基盤の創出」「交流がひろがる拠点の形成」等の施策を通して、都市の活力向上に向けた事業が進捗し、数値目標である「新たな産業系市街地の整備により生み出される雇用者数」は東部第二土地区画整理地内の企業立地及び順次操業により達成される見込みである。

(H28 当初値)		(R4 目標値)	※R 元実績値
—	→	1,300 人	—

◇未来につながる子育て環境づくりプロジェクト

「子育て家庭への支援の充実」「安全で快適な教育環境の整備」「みんなで楽しめる公園づくりの推進」等、子育てに関する様々な施策を総合的に推進したことで、子育て世代に選ばれるまちづくりが着実に進み、数値目標である「子育て世代の転出超過者数」は改善傾向がみられる。

(H28 当初値)		(R4 目標値)	※R 元実績値
△623 人	→	0 人	△56 人

* 25 歳から 39 歳の 5 年間の転出超過者数
・ H28 当初値：H30～R4 の合計
・ R 元実績値：H27～R 元の合計

6 外部評価の概要

- (1) 実施時期：令和2年11月24日～4月27日（計6回）
- (2) 評価者：施策評価委員会（妻鹿ふみ子委員長ほか9名の委員）
- (3) 評価項目：主な指標の達成状況、事業の構成、市民意識の反映、施策推進上の課題の捉え方、施策の方向性の5項目
- (4) 評価方法：内部評価結果を基に、第三者的視点によりその客観性・妥当性を検証するため、2つの分科会に分かれて評価を行い、全体会で結果を取りまとめた。
- (5) 結果概要

① 施策

■主な指標の達成状況

5つの力/まちづくり目標	A 順調に進捗している	B 概ね順調に進捗している	C 遅れている
暮らし力/誰もが明るく暮らせるまち	4	9	0
安心力/地域で助け合う安全で安心なまち	3	4	0
活力/個性豊かで活力あるまち	3	3	1
都市力/住み続けたい快適で魅力あるまち	4	5	0
自治力/みんなで考え行動するまち	0	4	0
合 計	14	25	1
	35%	62.5%	2.5%

*C評価となった施策：22「誰もが働きやすい環境の整備」

■事業の構成

5つの力/まちづくり目標	A 適切な構成である	B 概ね妥当である	C 構成に問題がある
暮らし力/誰もが明るく暮らせるまち	6	7	0
安心力/地域で助け合う安全で安心なまち	2	5	0
活力/個性豊かで活力あるまち	1	5	1
都市力/住み続けたい快適で魅力あるまち	4	5	0
自治力/みんなで考え行動するまち	3	1	0
合 計	16	23	1
	40%	57.5%	2.5%

*C評価となった施策：22「誰もが働きやすい環境の整備」

■市民意識の反映

5つの力/まちづくり目標	A 反映している	B 概ね反映している	C 反映できていない
暮らし力/誰もが明るく暮らせるまち	0	12	1
安心力/地域で助け合う安全で安心なまち	1	5	1
活力/個性豊かで活力あるまち	1	6	0
都市力/住み続けたい快適で魅力あるまち	3	6	0
自治力/みんなで考え行動するまち	0	1	3
合 計	5	30	5
	12.5%	75%	12.5%

*C評価となった施策：7「多様な働き方が選択できる保育の充実」

- 14「みんなで取り組む地域防災力の強化」
- 37「市民協働と地域コミュニティの活性化」
- 38「市民に身近な市役所づくりの推進」
- 40「市民に信頼される市政の推進」

■施策推進上の課題の捉え方

5つの力/まちづくり目標	A 課題の捉え方が 的確である	B 課題の捉え方に 一部不足が見られる	C 課題認識が できていない
暮らし力/誰もが明るく暮らせるまち	10	3	0
安心力/地域で助け合う安全で安心なまち	5	2	0
活力/個性豊かで活力あるまち	4	3	0
都市力/住み続けたい快適で魅力あるまち	6	3	0
自治力/みんなで考え行動するまち	4	0	0
合 計	29	11	0
	72.5%	27.5%	0%

■施策の方向性

5つの力／まちづくり目標	A 拡大して実施	B 継続実施	C 縮小して実施	D 抜本的見直し
暮らし力／誰もが明るく暮らせるまち	3	9	1	0
安心力／地域で助け合う安全で安心なまち	1	6	0	0
活力／個性豊かで活力あるまち	5	2	0	0
都市力／住み続けたい快適で魅力あるまち	3	6	0	0
自治力／みんなで考え行動するまち	1	3	0	0
合 計	13	26	1	0
	32.5%	65%	2.5%	0%

*C評価となった施策：8「次代を担う子ども・若者の育成支援の推進」

② リーディングプロジェクト

外部評価報告書に意見を記載

7 施策別評価結果一覧

施策ごとの内部評価及び外部評価の結果は、以下のとおり。

なお、結果が異なった評価項目については、表中に矢印を付した。

【暮らし力】誰もが明るく暮らせるまち

施策	主な指標の達成度 評価(達成状況)		取組手法の有効性 (事業の構成)		市民意識の反映		施策推進上の 課題の捉え方		施策の方向性	
	内部 評価	外部 評価	内部 評価	外部 評価	内部 評価	外部 評価	内部 評価	外部 評価	内部 評価	外部 評価
1	B		B		B		-	A	-	B
2	A		B		C	↗ B	-	B	-	B
3	B		B		C	↗ B	-	A	-	B
4	B		A		B		-	A	-	A
5	A		A		B		-	A	-	B
6	B		A	↘ B	B		-	A	-	A
7	B		A		C		-	B	-	A
8	A	↘ B	B		B		-	B	-	C
9	A		A		B		-	A	-	B
10	A		A		B		-	A	-	B
11	B		B		B		-	A	-	B
12	数値把握 不可	B	A	↘ B	B		-	A	-	B
13	C	↗ B	A		B		-	A	-	B

【安心力】地域で助けあう安全で安心なまち

施策	主な指標の達成度 評価(達成状況)	取組手法の有効性 (事業の構成)	市民意識の反映	施策推進上の 課題の捉え方	施策の方向性	
14	B	B	B	↘ C	- A - B	
15	A	B	B		- A - B	
16	B	A	↘ B	A	↘ B	- A - A
17	A	A		B		- A - B
18	A	A	↘ B	A	↘ B	- B - B
19	B	A		A		- A - B
20	A	↘ B	A	↘ B	B	- B - B

【活力】個性豊かで活力あるまち

施策	主な指標の達成度 評価(達成状況)		取組手法の有効性 (事業の構成)		市民意識の反映		施策推進上の 課題の捉え方		施策の方向性	
	内部 評価	外部 評価	内部 評価	外部 評価	内部 評価	外部 評価	内部 評価	外部 評価	内部 評価	外部 評価
21 地域を支える商業・工業の 振興	A	↘ B	B		B		-	A	-	A
22 誰もが働きやすい環境の 整備	C		B	↘ C	B		-	B	-	B
23 地域とつながる都市農業・ 森林づくりの推進	A		B		B		-	A	-	B
24 魅力ある観光の振興	A		B		B		-	B	-	A
25 シティプロモーションの推 進	B		A	↘ B	B		-	B	-	A
26 地域特性を生かした新たな 産業基盤の創出	A		A		A		-	A	-	A
27 交流がひろがる拠点の形 成	B		A	↘ B	B		-	A	-	A

【都市力】住み続けたい快適で魅力あるまち

施策	主な指標の達成度 評価(達成状況)		取組手法の有効性 (事業の構成)		市民意識の反映		施策推進上の 課題の捉え方		施策の方向性	
	内部 評価	外部 評価	内部 評価	外部 評価	内部 評価	外部 評価	内部 評価	外部 評価	内部 評価	外部 評価
28 個性と魅力あふれるまちづ くりの推進	A		A		A		-	A	-	A
29 快適で親しみのある地域づ くりの推進	B		A		B		-	A	-	B
30 自然共生社会の構築	A		A	↘ B	B		-	B	-	B
31 低炭素・循環型社会の構 築	A		A	↘ B	B		-	B	-	A
32 地域公共交通の充実	B		A		A		-	A	-	B
33 安全な交通環境の整備	A	↘ B	A	↘ B	B		-	A	-	A
34 都市の機能を高める基盤 施設の整備	B		A		A		-	A	-	B
35 公共施設の効率的な活用 と維持管理・保全の推進	B		B		B		-	A	-	B
36 みんなで楽しめる公園づく りの推進	A		A	↘ B	A	↘ B	-	B	-	B

【自治力】みんなで考え行動するまち

施策	主な指標の達成度 評価(達成状況)		取組手法の有効性 (事業の構成)		市民意識の反映		施策推進上の 課題の捉え方		施策の方向性	
	内部 評価	外部 評価	内部 評価	外部 評価	内部 評価	外部 評価	内部 評価	外部 評価	内部 評価	外部 評価
37 市民協働と地域コミュニティ の活性化	B		A		B	↘ C	-	A	-	B
38 市民に身近な市役所づくり の推進	C	↗ B	B		B	↘ C	-	A	-	B
39 健全で安定した財政運営 の強化	B		A		B		-	A	-	B
40 市民に信頼される市政の 推進	B		A		C		-	A	-	A

■評価項目別の概括

<主な指標の達成度>

内部評価・外部評価のいずれも、A評価（順調に進捗）となったものが14施策、B評価（概ね順調に進捗）となったものが18施策、C評価（遅れている）となったものが1施策、内部評価と外部評価で評価が異なったものなどが7施策あった。

<取組手法の有効性（事業の構成）>

内部評価・外部評価のいずれも、A評価（高い／適切な構成）となったものが16施策、B評価（普通／概ね妥当）となったものが12施策、内部評価と外部評価で評価が異なったものが12施策あった。

<市民意識の反映>

内部評価・外部評価のいずれも、A評価（反映）となったものが5施策、B評価（概ね反映）となったものが25施策、C評価（反映していない）となったものが2施策、内部評価と外部評価で評価が異なったものが8施策あった。

<施策推進上の課題の捉え方> ※外部評価のみ

A評価（的確）となったものが29施策、B評価（捉え方に一部不足）となったものが11施策あった。

<施策の方向性> ※外部評価のみ

A評価（拡大して実施）となったものが13施策、B評価（継続して実施）となったものが26施策、C評価（縮小して実施）となったものが1施策あった。

■総 評

内部・外部評価を踏まえると、後期基本計画に掲げる施策については、総じて順調に進捗し、概ね施策目的の実現に向けた成果が得られたと判断できる。

特に、伊勢原大山インター土地区画整理推進事業等で構成する「地域特性を生かした新たな産業基盤の創出」、景観まちづくり推進事業等で構成する「個性と魅力あふれるまちづくりの推進」の評価が高かった。他方、ワーク・ライフ・バランス普及促進事業等で構成する「誰もが働きやすい環境の整備」が低い評価となった。中には、市の取組だけで十分な成果を得ることが難しいものもあることから、国・県等を含めた役割分担の中で総合的に推進すべき施策を今後見極めていく必要もある。

なお、「取組手法の有効性（事業の構成）」に関する評価項目では、内部評価に対して外部評価が下回るケースが散見された。市民目線でみた場合、更なる事業の充実が求められたものだが、併せて成果を測る内容として施策指標が不十分との指摘もなされた。こうした評価を踏まえ、今後は一層の市民意識の反映と、適切な指標設定が必要である。

また、いせはらの「魅力」と「暮らしやすさ」向上リーディングプロジェクトについては、いずれも設定した数値目標に近づいており、順調に進捗した。

8 施策評価結果から得られた課題等の整理

拡大して実施すべきとされた施策	市民意識の反映が不十分とされた施策	
<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 高齢者の地域生活支援の充実 <input type="checkbox"/> 子育て家庭への支援の充実 <input type="checkbox"/> 多様な働き方が選択できる保育の充実 <input type="checkbox"/> 被害を最小限に抑える減災対策の推進 <input type="checkbox"/> 地域を支える商業・工業の振興 <input type="checkbox"/> 魅力ある観光の振興 <input type="checkbox"/> シティプロモーションの推進 <input type="checkbox"/> 地域特性を生かした新たな産業基盤の創出 <input type="checkbox"/> 交流がひろがる拠点の形成 <input type="checkbox"/> 個性と魅力あふれるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 低炭素・循環型社会の構築 <input type="checkbox"/> 安全な交通環境の整備 <input type="checkbox"/> 市民に信頼される市政の推進 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 安心できる地域医療体制の充実 <input type="checkbox"/> 多様な連携による地域福祉の推進 <input type="checkbox"/> 多様な働き方が選択できる保育の充実 <input type="checkbox"/> みんなで取り組む地域防災力の強化 <input type="checkbox"/> 市民協働と地域コミュニティの活性化 <input type="checkbox"/> 市民に身近な市役所づくりの推進 <input type="checkbox"/> 市民に信頼される市政の推進 	
	<th data-bbox="823 721 1436 792">実施手法の再検討等が必要とされた施策</th>	実施手法の再検討等が必要とされた施策
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 次代を担う子ども・若者の育成支援の推進 <input type="checkbox"/> 誰もが働きやすい環境の整備 	

分野別に整理した課題等

【健康・福祉】

- すべての市民が適切な医療を受けられるよう、恵まれた地域医療資源を生かし、各医療機関等と連携した取組を継続的に進めるとともに、高齢者が増加する中、健康への関心を高めながら健康づくりを促進する必要がある。
- 核家族化や地域のつながりが希薄化する中、一人暮らしの高齢者や障がい者等の日々の見守りや災害時の支援が必要なため、地域での助け合い・支え合いが求められる。
- 高齢者や障がい者が社会参加しやすい環境整備が必要である。

【子育て】

- 子育て家庭への支援ニーズは高く、定住・移住の判断材料ともなるため、子育て世代包括支援センターの機能強化を図るなど、安心して子育てができる環境の充実が必要である。
- 多様な働き方をサポートするため、保育関連施設等の環境整備に取り組むとともに、保育士等の安定的な確保に努め、保育所等の待機児童の解消を図る必要がある。

【教育】

- 築30年以上の学校施設が全体の8割を超えているため、児童生徒の安全を優先し、大規模修繕や更新等を計画的に進める必要がある。
- 青少年の安全・安心な居場所づくりとして、地域住民の参画を得て、地域での活動機会の提供や見守り活動等を実施し、地域全体で子どもを育む環境づくりを推進する必要がある。
- 若者支援としての婚活支援については、行政が支援する意義を整理し、施策展開を検討する必要がある。
- 健康づくりの観点から、誰もが気軽に運動・スポーツができる機会の提供や習慣化を促進する必要がある。

【防災・消防】

- 様々な災害に応じた減災対策を推進するため、市民・地域・行政が役割を明確にし、地域の特性や実態に応じた質の高い防災・減災対策をハード・ソフト両面から取り組む必要がある。
- 避難所機能の強化や市民の適切な避難行動の理解促進とともに、災害時における他県等からの応援職員や救援物資の受援態勢の構築が求められる。
- 広域避難場所や緊急（一時）避難場所に指定されている都市公園について、多様な市民利用を想定した防災機能の向上が求められる。
- 大規模地震に備え、老朽化する消防署本署庁舎の耐震性確保に向けた整備の推進が求められる。

【産業・観光】

- 地域経済の活性化を図るため、企業誘致や商店街の賑わいづくりとともに、「新しい生活様式」への環境整備支援の検討が必要である。
- 伊勢原大山ICの開通効果や新東名高速道路の全線開通に伴う交通アクセス向上とあわせ、さがみロボット産業特区としての取組や、本市の特性・強みを生かした産業振興に取り組む必要がある。
- 圏央道周辺の産業系市街地整備が進み、県央エリアのポテンシャルが向上する中、企業活動の活発化の機運を的確に捉えた企業誘致活動が必要である。
- 様々なライフステージや生活スタイルに応じた働き方が選択できる社会の実現に向け、国や県と連携し、各事業所が取り組む職場環境づくりへの支援や、働き方改革を促進する諸制度の情報発信が求められる。
- 多様化する観光客の動向やニーズを把握し、受入環境の整備と市域全体での周遊性の向上を図るとともに、近隣自治体との広域的な観光振興や企業・関係団体と連携した取組が求められる。

【都市基盤・まちづくり】

- 新東名高速道路や県道603号（上粕屋厚木）の全線開通等、広域幹線道路網の整備による交通アクセス向上を捉え、地域特性を生かした新市街地整備を推進する必要がある。
- 市民の期待が高く、駅周辺の賑わいづくりや観光の玄関口として重要な伊勢原駅北口周辺地区整備の更なる進捗が求められる。
- 広域幹線道路整備による道路ネットワークの形成により、交通の利便性や都市機能向上が図られ、市域の観光振興をはじめとする経済活動等への効果が期待されるため、国・県への積極的な働きかけを行い、早期整備を促進する必要がある。
- 歩道整備やバリアフリー化、交通安全に関する取組等を推進し、誰もが安心できる安全な歩行空間を確保する必要がある。
- 市内公園の半数以上が開園から30年以上を経過しているため、施設の長寿命化対策とあわせ、誰もが安心して楽しめる魅力ある公園づくりを進める必要がある。
- 都市のオープンスペースとしての役割が再認識されている公園等について、新たな活用や事業展開を検討する必要がある。
- 人口減少が進む中、誰もが移動しやすい公共交通ネットワークを形成するため、地域の実情や移動ニーズを把握し、事業者と連携・協力しながらICTを活用したサービス等、新たな公共交通サービスの検討が求められる。
- 良好な景観形成によるまちの魅力向上を図るため、市民や事業者の理解を促進し、観光振興等への好循環による地域の活性化とともに、将来的な定住・交流・関係人口の増加を促す必要がある。

【環境】

- 国が示した2050年カーボンニュートラルの実現に向け、温室効果ガスの排出抑制を促進するため、市民や企業に対する啓発及び支援とともに、循環型社会を実現するため、ごみの減量化・資源化を推進する必要がある。
- 環境の保全・創造に向けた人づくり、地域づくりを推進するため、家庭や地域、学校等の様々な機会を通じた取組を進める必要がある。また、生態系やみどりの保全に向けた検討も求められる。

【市民協働・コミュニティ】

- 自治会や市民団体が自ら地域の課題解決を図ることができる活動基盤づくりとともに、必要に応じた市民と行政との協働を推進していく必要がある。また、自治会活動等のICT化の促進等、地域コミュニティを活性化させるための側面的支援が求められる。

- 高齢社会が進行し、家族・地域のつながりが希薄化する中、一人暮らしの高齢者や障がい者等の日々の見守りや災害時の支援体制等が必要なため、地域の助け合い・支え合いが求められる。(再掲)

【行政・自治】

- 市民の利便性向上を図るため、様々な情報発信ツールを活用した市政情報の発信に努めるとともに、窓口のワンストップ化や手続きのICT化を推進する必要がある。
- 分かりやすさと戦略性を備えた広報活動とともに、多様化・複雑化する市民からの相談に対し、きめ細やかに対応する相談体制の充実が求められている。
- 人口減少・少子高齢社会の進行により、市税収入の減少と社会保障関連経費の増大が懸念されるため、実効性のある財源確保策の検討等、健全で安定した財務体質への改善が求められている。
- 公共施設やインフラの効果的かつ効率的な修繕・改築等を進めるとともに、総量縮減に向けた多機能化・複合化・統廃合等の推進が求められる。
- 多様化する行政ニーズや頻発する自然災害等の脅威に対応するため、経営体質の改善や人材育成に取り組むとともに、機動的かつ柔軟な組織体制の構築と人員配置を行う必要がある。
- 行政が抱える様々な課題の解決に向け、企業や大学等が持つノウハウや人材を活用した取組を推進する必要がある。

【シティプロモーション】

- 「選ばれるまち」となるため、市内外に向けた積極的な情報発信とともに、市民・事業者・大学等の多様な主体と連携し、市民の愛着や誇りを高めるためのシティプロモーションが必要である。特に将来を担う子どもたちのシビックプライドを育む取組が求められる。